

文部科学省特別選定
少年、青年、成人、家庭向き

存在を否定され、死ぬ自由を突き付けられ、
それでもなお地域社会に分け入っていく勇敢な呼吸器ユーザーたち。
今までこんな風に見たことはなかった。
存在理由を獲得していく彼らの姿が逞しく眩しく映っていた。
世界を救うヒーロー・ヒロインに見えてきた。
川口有美子 【作家・日本ALS協会理事】

「出来ないことがすごくいたくさんある中で、
障害者が出来る大きい仕事ってというのは、
外に出て人目について、
人の意識の中に障害者の存在を
ちよっとでも根付かせていくこと」

人工呼吸器は、呼吸を助ける道具です。
そこから吹いてくる風が、人と人とをめぐり合わせてくれます。

風は生きよという

追い風は、ときどき前からふいてくる。

もしもあなたが、病気や障害のために身体を動かさなくなったとしたら、どんな人生を想像しますか？

映画が映し出したのは、ふつうの街でふつうの生活を送る人びと。特別なことといえば、呼吸するための道具・人工呼吸器を使用していることくらい。淡々とその生活を映し出し、歩んできた人生を見つめた時、浮かんできたのは日常の尊さ。たくさんの支援が必要だからこそ、多くの人に出会い、自由に動くことができないからこそ、生きてあることに感動する。じんわりとところを揺する、人と人が織りなす物語。

もしもあなたに、思うように身体を動かさない、そんな日が来た時は思い出してほしいのです。映画の中を駆け抜けていた、風の音を。その風に包まれた人と人が、支えあいながら生きていたことを。



愛知県★初上映!!

2016年3月13日

尾張旭市文化会館
あさひのホール

【人工呼吸器とは？】

障害や病気により、肺を動かす筋力が弱い人たちの呼吸を補助する医療機器です。様々な種類があり、かかりつけの病院からレンタルされています。呼吸の回数や量、リズムなどを細かく設定することで自分に合った呼吸ができます。



地域の福祉について
一緒に考えてみませんか？

尾張旭の地域福祉を考える映画上映会 映画「風は生きよという」in尾張旭

- 日時 2016年3月13日(日)14:30～(80分) 開場14:00
- 会場 尾張旭市文化会館 あさひのホール
(名鉄瀬戸線尾張旭駅より徒歩約10分)
- 参加費 前売り 700円 当日 1000円
(障害者手帳取得者1名につき、介助者1名まで無料)
- 定員 200名 (先着順・自由席)

*会場の都合上、車いすで鑑賞できる座席をご用意できません。

座席へ移乗しての鑑賞をお願いします。移乗に介助が必要な方はお申し出ください。車いすでの鑑賞希望の方は大変申し訳ありませんが、車いすで鑑賞できる会場にて第2回目の上映会を企画しますので、しばらくお待ちいただきますようお願い申し上げます。

● 前売りチケットの購入について

- ①ひまわり福祉会くすの木・ひまわりにて販売します。
- ②尾張旭市内に限りメール予約ののち、スタッフが伺いして販売します。
- ③協力団体の事務所にて販売します。(日時指定があります)

*協力団体での販売日時は、尾張旭上映実行委員会の案内ページおよびFacebookにて公開します。

<http://blog.goo.ne.jp/toshie0525> ブログ あおぞら日記内「上映会」カテゴリー

②でご購入希望の方は…

メールにて、ご氏名・ご住所・ご連絡先・チケットの枚数を記載し、下記アドレスまでお送りください。必ず件名を「前売りチケット購入希望」にしてください。

メールでの申し込みが困難な方に限りましては、電話での受付をします。

平日(月～金)9:00～16:00にお電話いただき、上記内容をお知らせください。

(0561-51-1356 押富まで)

● お問い合わせ

ご不明な点などありましたら、下のアドレスにメールしてください。

kaze.in.owariasahi@gmail.com

- 主催 映画「風は生きよという」尾張旭上映実行委員会
後援 尾張旭市/尾張旭市社会福祉協議会/社会福祉法人ひまわり福祉会
NPO法人サポート&ケア/公益財団法人アジア保健研修所
日本福祉大学高浜専門学校同窓会
協力団体 NPO法人ピース・トレランス(申請予定)/NPO法人作業療法支援ネット
NPO法人介護研究会 笑/障害者と共に生きる会